



《人を知るということ》④ (まとめ)

## 関係性に違いや変化があると、見え方が変わる

H29. 7. 24 坂井

### ある朝の出来事 から

朝、横断歩道や通学路で、登校する子どもとあいさつや言葉を交わすことがあります。先週のある日、2年生のTさんとおしゃべりしながら一緒に学校に向かいました。そのとき、Tさんが次のように話してくれたのです。「何だか、最近、友だちのSさんが元気がないんだ。あいさつしても返事がないの。」この言葉を聞いて、Tさんは友だち思いでやさしい子なのかな、とそのとき思いました。学校に戻りその話をすると、担任からはどちらかという活発なお子さんだとの話がありました。もちろん、担任は、その子のことを一番よく知っていますが、そのときに思ったことは、子ども(人)に対する見方は、当然互いのかかわりの深さで異なることが多い、ということです。

学校では、多くの場で子どもたちのことを話題にしています。前回の響風でお伝えしたように、授業研究もその一つです。担任を中心に、全職員が様々な面から子どもたちのことを知り、自分の見方を更新するようにしています。

当校の教職員は、連絡帳や電話を使って、あるいは直接保護者の皆様にお会いするなどして、お子さんのことについて情報交換することを心がけています。今後も、お子さんを守り育てるために、よろしく願いいたします。

本日、お子さんの学校での学習や生活の様子を、通知表「努力のあと」を通じてお知らせいたします。保護者の皆様が、お子さんの学習状況や学校生活の様子を知るための手がかりにいただければ幸いです。また、通知表をご覧になられて、また、お子さんの様子でお気付きのことやご心配なことなどありましたら、夏休み中も引き続き担任までお知らせください。

## 夏休みを迎えて

いよいよ明日から、夏休みがスタートします。1ヵ月を超えるこの期間は、子どもたちにとって楽しい期間であるばかりでなく、大きな成長が期待できる時です。

教員になり立てのころ、ある先輩から、「どうせ授業はうまくないんだから、まずは子どもと遊びなさい」と教えられたことがあります。遊びを通して、授業中は見ることのできない子どもたちの新たな姿を知ることができ、また、子どもたちにとっても教師との関係性が変わるのだらうと思います。

保護者の皆様からは、この夏休みを、是非お子さんとの過ごし方に一工夫してみる機会にしていだければと思います。お子さんのために、少しだけ「学校的」に過ごされることをお薦めします。お子さんの新たな面が見えてくるものと思います。学校日より（7月号）では、このことについて3つの提案をさせていただきました。ご覧いただければ幸いです。

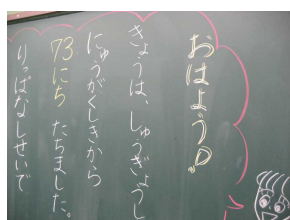


## おわりに

本日の終業式では、1学期の学校生活や諸行事の様子をスライドを見ながら子どもたちと振り返った後、「3つの宿題」を出しました。

- ① 夏休みにやってみたいことを、お家の人と相談して続けてみよう。
- ② お家の手伝いを頑張ろう。
- ③ 命を守る。

この3つのことについても、お子さんと話題にしていだければありがたいです。



### 本日（終業式の日）のスナップから

この電子版校長通信は、中学生が自らの命を絶つという、あってはならないできごとを受けて急ぎよ発行を決めたものです。子どもたちの命を守るためにできることをやらなくてはならない。特に、子どもに関わる大人が一緒になって、目の前の子どもたちのことを深くとらえていくことが必要だ。そのためのヒントを少しばかりでもお伝えしたい。そう考えてのことでした。

2学期からは、新たなテーマを設定するなどして、住吉小学校の教育を保護者や学区の皆様と一緒に創っていくための情報を、校長の視点からお届けしたいと思います。住吉小学校の Web サイトに掲載しますので、お立ち寄りいただければ幸いです。なお、引き続き、玄関先には最新号（印刷物）を置いておきますので、どうぞお持ちください。

改めて、1学期間のご支援とご協力に感謝申し上げます。